

ふくしま鉄魂祭『キッズシャンプープロジェクト&入浴体験』 開催

福島県理容生活衛生同業組合(中野竹治理事長)は一昨年より行って来た”理容の力で復興支援”『ふくしま鉄魂祭プロジェクト』の一環で『キッズシャンプープロジェクト&入浴体験』を7月24日(月)に土湯温泉山水荘にて開催いたしました。

一人でシャンプーをできるか?という年代の小学校2年生から4年生対象に、毎日の日課であるシャンプーを正しく行うことが、頭皮頭毛に大変重要であることを理解していただくイベントで、68名の保護者・児童が参加いたしました。

はじめにシャンプー前後の地肌の状態をマイクロスコープで子供たちに見ていただき確認することで、シャンプーの重要性を認識していただきました。子供達には初めてのことで、実際に映像にうつしだされた頭皮の状態をみて驚きの声が上がっていました。

東京都理容組合山下女性部長たちも応援に駆け付けていただき、組合員が児童にシャンプーの手順とコツを『エアシャンプー』(シャンプー剤をつけずにシャンプー動作の練習)により指導した後山水荘の大浴場をお借りしまして、実際にシャンプーを行い、シャンプーする前にブラッシングを行いよく髪を濡らしてから、シャンプーを手のひらに取り、手でよく泡立ててから頭皮につけるように!爪を立ててごしごし洗ってはいけません。指の腹を使ってシャンプーしましょう!シャンプー終わったらよく泡をお湯ですすぎましょう!と指導を受けていました。

参加した児童からは、『今まではお母さんにシャンプーしてもらっていたけど、これからは1人でシャンプーができる自信がついた!』『楽しくシャンプーができた!』という声もいただきました。

又、会場である土湯温泉『山水荘』の若旦那、渡邊利生様に《ただしい温泉の入り方》の講義で温泉入浴時のマナーを紙芝居を使用し子供達にわかりやすい内容で伝えました。

保護者の方には、夏の時期増加傾向にある『アタマジラミ』の対処法等を福島県県北保健事務所職員の遠藤俊彦様・福島県理容組合講師会 小熊幸司講師に説明をうけアタマジラミは不潔だから…。だらしないから…。ということで発症するものではなく、そのことにより子供の心を傷つけることの無いようにケアすることも重要だと教えていただきました。

保護者の方も、『アタマジラミの誤った知識を持っていたが、説明を聞いて安心した。』『駆除法など対処法を教えてください、ためになった。』という声をいただきました。

その後『シャンプー剤の選び方』を福島県理容組合講師会 鈴木克典講師がシャンプー剤の両面活性剤の成分によって使用目的が変わることや、コスト面や安全性のことなどを説明しました。子供にどのようなシャンプーを使用すればいいか?シャンプー選びの目安なる内容でした。

最後にシャンプーの仕方を理解でき、きちんとシャンプーができた児童に『キッズシャンプーマイスター認定書』が授与され、応援に駆け付けた2014年ゆるきゃらグランプリ企業部門第一位に輝いた『バーバーくん』と『シャンプーちゃん』と記念撮影を取り、たのしくイベントを終了しました。

バーバーくんとシャンプーちゃんに会った子供たちは、かわいい!大好き!と大喜びで、イベント終了時には、今度どこで会えるの?また会いたい!とお別れを惜しむ声が響きました。

改めて理容業界のイベントを盛り上げる意味でもバーバーくんとシャンプーちゃんはとても有効であることを認識しました。

低料金店がシャンプー軽視の傾向のある中、組合員店が、しっかりシャンプーのノウハウやシャンプー剤の選定の仕方、アタマジラミの知識や対策を児童・保護者にしっかり伝えることが重要だとこのイベントを通じて再認識いたしました。

これからも県内各地でこのイベントを開催し、数多くの消費者に正しいシャンプーの仕方、知識等を伝えていき、組合員店の技術力・情報力・安心・安全を伝えていきたいと思えます。

このイベントは今年で3年目を迎え、10月9日には福島市・こむこむにて『ふくしま鉄魂祭ヘアショー』も行うため準備を進めています。

最後にこのイベントに情報提供やお手伝いのご協力をいただきました東京都理容生活衛生同業組合はじめ、女性部の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。